

紀野一義 （初） 佛敎評論家。大正十一年八月九日山口縣秋生れ（一九二一）。東京帝國大學文藝部印度哲學科在學中、學徒動員で南方に出征。（二十一年復員、復學卒業。）止眼短期大學副學長、在家佛敎集團（しん）如會（にようかい）主幹。

著書 『般若心経・金剛般若経』（中村元共訳注、昭和二十五年七月）
 『五百岩波書店「岩波文庫」』（、『浄土三部経』全一冊（共訳注、上
 一 大無量壽経・昭和二十八年十一月十六日、下 觀無量壽経・二十九
 年九月十六日岩波書店「岩波文庫」）、『海陸放浪の世界』（昭和四
 十二年七月）『NHK日本放送出版協会「NHKブックス」』（、『求道の
 人びと―近代仏敎百年の歩み』（合著、昭和四十四年二月十日春秋
 社）、『信の風光』（昭和五十二年四月八日中山書房）、『迷いさふ
 りさる―道元禪師の教習』（平成七年五月五日経済界「リネウブツク
 ス」）等。

